Synology®

TECHNICAL SUPPORT

PHP脆弱性 影響確認ガイド



KSG株式会社

PHP脆弱性への対応手順

■はじめに

本手順書では、弊社よりご購入いただいたSynology NASについて、PHPに関する脆弱性への対応要否を確認し、必要に応じてアップデートを実施するまでの手順をご案内します。
販売・設置されたSynology NASの環境によって、DSMのバージョンやPHPのインストール・利用状況が異なります。以下の流れに沿って現在の状態をご確認のうえ、必要な対応を実施してください。
なお、PHPがインストールされている場合でも、利用状況やシステム構成によって影響は異なります。本手順では、個々の環境における脆弱性の影響有無を判断するのではなく、対象となる環境を確認し、必要なアップデートを実施することを基本方針としています。

■本資料の取り扱いについて

メーカーであるSynology社からの本件に関する正式な情報は、グローバルで日本時間10月22日に**同社Webサイトへ公開されております。**
本資料は、お客様およびパートナーの皆様に早期にご確認・ご対応いただくことを目的とした通知資料です。Synology社発表も合わせてご確認ください。

■対策の流れ

① DSMバージョンの確認
はじめに、対象となるSynology NASの**DSMバージョンを確認**します。DSMのバージョンによって確認・対応内容が異なる可能性があるため、最初に現在のバージョンを確認してください。

② PHPインストール状況の確認
次に、対象のSynology NASにおける**PHPのインストール状況および利用状況を確認**します。PHPを明示的にインストールしていない場合でも、システムやアプリケーションの構成について確認が必要となる場合があるため、本手順に沿ってご確認ください。

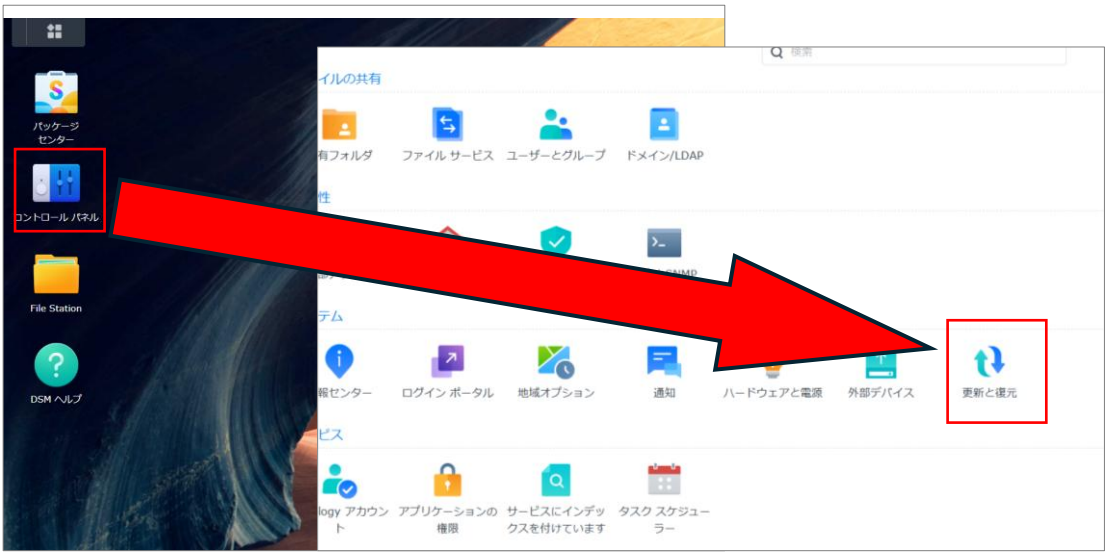
▼

③ 状況毎の対応方法　※本対応前にバックアップを取得することを推奨します
確認の結果、**対応が必要なPHPが利用されている場合は、PHPのアップデートを実施**します。アップデート対象および具体的な操作方法については、後述の手順に沿って対応してください。

▼

①DSMバージョン確認

SynologyNASに管理者権限でログインし、コントロールパネル> 更新と復元に進みます





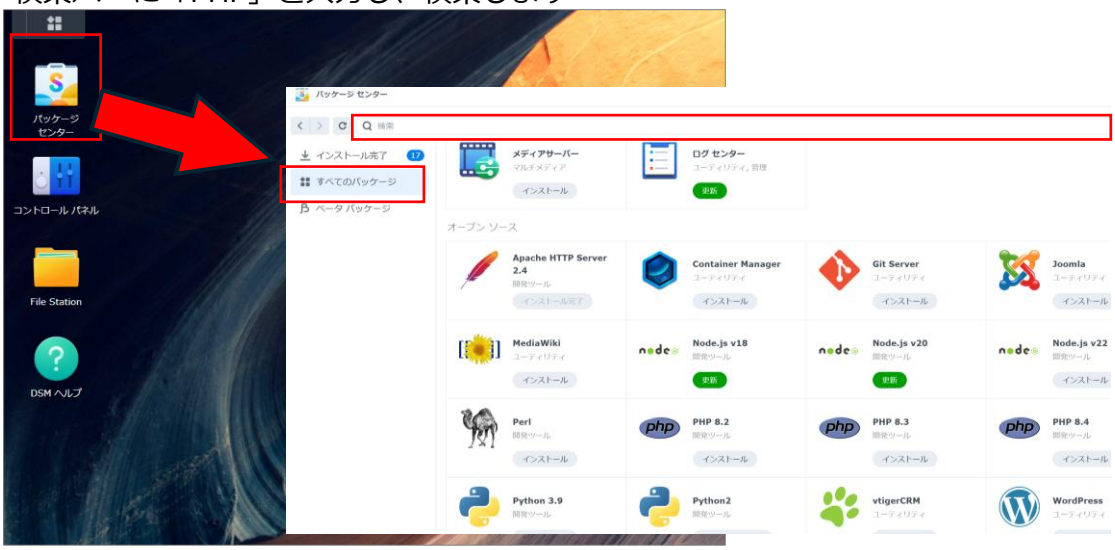
現在のDSMバージョンごとの留意事項

・DSM 7.3 以降：PHPのアップデートが提供されているため、問題ありません
・DSM 7.2　　：アップデートの提供は予定されていますが、
すでにEOSのバージョンの為、DSMのアップデートをご検討ください
※本バージョンはHyperBackupを利用している場合、PHPがインストールされています
・DSM 7.1 以前：PHPのアップデートは提供されません。DSMのアップデートを検討ください。※本バージョンはHyperBackupを利用している場合、PHPがインストールされています

KSG株式会社

②PHPインストール状況の確認

パッケージセンターより、すべてのパッケージを選択します
検索バーに「PHP」と入力し、検索します





③状況毎の対応方法

PHPのアイコン下部の状態について

・「インストール」　　：インストールされていません
　今回の脆弱性の影響は受けませんのでそのままご利用ください

・「インストール完了」：インストールされています。
　DSMが7.3以降の場合はWordPressSynologyCalender等を利用している可能性があります
　継続して利用する場合は更新ボタンでアップデートを実施してください。アンインストールする場合はアイコンをクリックしてアンインストールを選択してください。※アンインストールを押すと利用できなくなるパッケージ一覧が表示されますので、ご確認の上、アンインストールしてください

　※更新ボタンが表示されていない場合は、修正版がリリースされていません。リリースされるまで、一時停止をご検討ください